

(様式例第11)

栃那病携第 45 号
令和 7年 9月 25日

栃木県知事 殿

住 所 東京都港区芝大門1-1-3

申請者

氏 名 日本赤十字社
社長 清家 篤

那須赤十字病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
氏名	日本赤十字社 社長 清家 篤

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

那須赤十字病院

3 所在の場所

〒324-8686 栃木県大田原市中田原1081-4	電話 (0287) 23 - 1122
----------------------------	---------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	6床	0床	0床	454床	460床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要		
集中治療室	(主な設備) 生体情報モニタ、人工呼吸器、人工透析装置・血液ガス測定装置、大動脈バルーンポンプ装置、心電計 病床数 8床		
化学検査室	(主な設備) 実験台、多項目自動分析装置、免疫測定装置		
細菌検査室	(主な設備) 実験台、安全キャビネット、全自動血液培養検査装置		
病理検査室	(主な設備) パラフィンブロック冷却装置、凍結組織切断薄切装置		
病理解剖室	(主な設備) 解剖台・ホルマリン槽流し台、肉眼写真撮影装置		
研究室	(主な設備) 電カル用パソコン、インターネットの接続管理		
マイタウンホール	室数	1室	収容定員 250人
多目的ホール	室数	1室	収容人数 64人
図書室	室数	2室	蔵書数 34,500冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 酸素、吸引器、ストレッチャー 保有台数 1台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	26.76 m ²

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(第12号様式) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている
ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	92.5%	算定 期間	R6年 4月 1日～ R7年 3月 31日		
地域医療支援病院 逆紹介率	92.3%				
算出 根拠	A：紹介患者の数		13,769人		
	B：初診患者の数		14,884人		
	C：逆紹介患者の数		13,738人		

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(第13号様式) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤	週38時間45分	
2	医師		常勤	週38時間45分	
3	医師		常勤	週38時間45分	
4	医師		常勤	週38時間45分	
5	医師		常勤	週38時間45分	
6	医師		常勤	週38時間45分	
7	医師		常勤	週38時間45分	
8	医師		常勤	週38時間45分	
9	医師		常勤	週38時間45分	
10	医師		常勤	週38時間45分	
11	医師		常勤	週38時間45分	
12	医師		常勤	週38時間45分	
13	医師		常勤	週38時間45分	
14	医師		常勤	週38時間45分	
15	医師		常勤	週38時間45分	
16	医師		常勤	週38時間45分	
17	医師		常勤	週38時間45分	

18	医師		常勤	週38時間45分	
19	医師		常勤	週38時間45分	
20	医師		常勤	週38時間45分	
21	医師		常勤	週38時間45分	
22	医師		常勤	週38時間45分	
23	医師		常勤	週38時間45分	
24	医師		常勤	週38時間45分	
25	医師		常勤	週38時間45分	
26	医師		常勤	週38時間45分	
27	医師		常勤	週38時間45分	
28	医師		常勤	週38時間45分	
29	医師		常勤	週38時間45分	
30	医師		常勤	週38時間45分	
31	医師		常勤	週38時間45分	
32	医師		常勤	週38時間45分	
33	医師		常勤	週38時間45分	
34	医師		常勤	週38時間45分	
35	医師		常勤	週38時間45分	
36	医師		常勤	週38時間45分	
37	医師		常勤	週38時間45分	

38	医師	常勤	週38時間45分	
39	医師	常勤	週38時間45分	
40	医師	常勤	週38時間45分	
41	医師	常勤	週38時間45分	
42	医師	常勤	週38時間45分	
43	医師	常勤	週38時間45分	
44	医師	常勤	週38時間45分	
45	医師	常勤	週38時間45分	
46	医師	常勤	週38時間45分	
47	医師	常勤	週38時間45分	
48	医師	常勤	週38時間45分	
49	医師	常勤	週38時間45分	
50	医師	常勤	週38時間45分	
51	医師	常勤	週38時間45分	
52	医師	常勤	週38時間45分	
53	医師	常勤	週38時間45分	
54	医師	常勤	週38時間45分	
55	医師	常勤	週38時間45分	
56	医師	常勤	週38時間45分	
57	医師	常勤	週38時間45分	

58	医師
59	医師
60	医師
61	医師
62	医師
63	医師
64	医師
65	医師
66	医師
67	医師
68	医師
69	医師
70	医師
71	医師
72	医師
73	医師
74	医師
75	医師
76	医師
77	医師

[illegible]

78	医師	常勤	週38時間45分	
79	医師	常勤	週38時間45分	
80	医師	常勤	週38時間45分	
81	医師	常勤	週38時間45分	
82	医師	常勤	週38時間45分	
83	医師	常勤	週38時間45分	
84	医師	常勤	週38時間45分	
85	医師	常勤	週38時間45分	
86	医師	常勤	週38時間45分	
87	医師	常勤	週38時間45分	
88	医師	常勤	週38時間45分	
89	医師	常勤	週38時間45分	
90	医師	常勤	週38時間45分	
91	医師	常勤	週38時間45分	
92	医師	常勤	週38時間45分	
93	医師	非常勤	週38時間45分	
94	医師	非常勤	週38時間45分	
95	医師	非常勤	週38時間45分	
96	医師	非常勤	週38時間45分	
97	医師	非常勤	週38時間45分	

158	臨床検査技師
159	臨床検査技師
160	臨床検査技師
161	臨床検査技師
162	臨床検査技師
163	臨床検査技師
164	臨床検査技師
165	臨床検査技師
166	臨床検査技師
167	臨床検査技師
168	臨床検査技師
169	臨床検査技師
170	臨床検査技師
171	臨床検査技師
172	臨床検査技師
173	臨床検査技師
174	臨床検査技師
175	臨床検査技師
176	臨床検査技師
177	臨床検査技師

[illegible]

178	臨床検査技師	常勤	週38時間45分	
179	臨床検査技師	常勤	週38時間45分	
180	臨床検査技師	常勤	週38時間45分	
181	臨床検査技師	常勤	週38時間45分	
182	臨床検査技師	常勤	週38時間45分	
183	臨床検査技師	常勤	週38時間45分	
184	臨床検査技師	常勤	週38時間45分	
185	臨床検査技師	常勤	週38時間45分	
186	救急救命士	常勤	週38時間45分	
187	臨床工学技士	常勤	週38時間45分	
188	臨床工学技士	常勤	週38時間45分	
189	臨床工学技士	常勤	週38時間45分	
190	臨床工学技士	常勤	週38時間45分	
191	臨床工学技士	常勤	週38時間45分	
192	臨床工学技士	常勤	週38時間45分	
193	臨床工学技士	常勤	週38時間45分	
194	臨床工学技士	常勤	週38時間45分	
195	臨床工学技士	常勤	週38時間45分	
196	臨床工学技士	常勤	週38時間45分	
197	臨床工学技士	常勤	週38時間45分	

198	臨床工学技士		常勤	週38時間45分	
199	臨床工学技士		常勤	週38時間45分	
200	看護師		常勤	週38時間45分	
201	看護師		常勤	週38時間45分	
202	看護師		常勤	週38時間45分	
203	看護師		常勤	週38時間45分	
204	看護師		常勤	週38時間45分	
205	看護師		常勤	週38時間45分	
206	看護師		常勤	週38時間45分	
207	看護師		常勤	週38時間45分	
208	看護師		常勤	週38時間45分	
209	看護師		常勤	週38時間45分	
210	看護師		常勤	週38時間45分	
211	看護師		常勤	週38時間45分	
212	看護師		常勤	週38時間45分	
213	看護師		常勤	週38時間45分	
214	看護師		常勤	週38時間45分	
215	看護師		常勤	週33時間45分	
216	看護師		常勤	週38時間45分	
217	看護師		常勤	週38時間45分	

218	看護師		常勤	週38時間45分	
219	看護師		常勤	週38時間45分	
220	看護師		常勤	週38時間45分	
221	看護師		常勤	週38時間45分	
222	看護師		常勤	週38時間45分	
223	看護師		常勤	週38時間45分	
224	看護師		常勤	週38時間45分	
225	看護師		常勤	週38時間45分	
226	看護師		常勤	週38時間45分	
227	看護師		常勤	週38時間45分	
228	看護師		常勤	週38時間45分	
229	看護師		常勤	週38時間45分	
230	看護師		常勤	週38時間45分	
231	看護師		常勤	週38時間45分	
232	看護師		常勤	週38時間45分	
233	看護師		常勤	週38時間45分	
234	看護師		常勤	週38時間45分	
235	看護師		常勤	週38時間45分	
236	看護師		常勤	週38時間45分	
237	看護師		常勤	週38時間45分	

258	看護師	常勤	週38時間45分	
259	看護師	常勤	週38時間45分	
260	看護師	常勤	週38時間45分	
261	看護師	常勤	週38時間45分	
262	看護師	常勤	週38時間45分	
263	看護師	常勤	週38時間45分	
264	看護師	常勤	週38時間45分	
265	看護師	常勤	週33時間45分	
266	看護師	常勤	週38時間45分	
267	看護師	非常勤	週34時間00分	
268	看護師	常勤	週38時間45分	
269	看護師	常勤	週31時間15分	
270	看護師	常勤	週38時間45分	
271	看護師	常勤	週38時間45分	
272	看護師	常勤	週38時間45分	
273	看護師	常勤	週38時間45分	
274	看護師	常勤	週38時間45分	
275	看護師	常勤	週31時間15分	
276	看護師	常勤	週38時間45分	
277	看護師	非常勤	週26時間00分	

278	看護師	常勤	週38時間45分	
279	看護師	常勤	週38時間45分	
280	看護師	常勤	週38時間45分	
281	看護師	常勤	週38時間45分	
282	看護師	非常勤	週34時間00分	
283	看護師	常勤	週38時間45分	
284	看護師	常勤	週38時間45分	
285	看護師	常勤	週38時間45分	
286	看護師	常勤	週31時間15分	
287	看護師	常勤	週38時間45分	
288	看護師	常勤	週38時間45分	
289	看護師	常勤	週38時間45分	
290	看護師	常勤	週38時間45分	
291	看護師	常勤	週38時間45分	
292	看護師	常勤	週38時間45分	
293	看護師	常勤	週38時間45分	
294	看護師	常勤	週38時間45分	
295	看護師	非常勤	週21時間45分	
296	看護師	常勤	週38時間45分	
297	看護師	常勤	週38時間45分	

[illegible]

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	22床
専用病床	19床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター	466.86㎡	(主な設備) 脳波形 高頻度ジェットベンチレーター 全身用高度ＣＴスキャナ 体温自動冷却加温装置 誘発電位検査装置 大動脈バルーンポンピング装置 コードレス移動型Ｘ線装置 持続的血液ろ過透析装置 代謝モニター 手術用顕微鏡 デジタル注装置 pEEGモニター 連続心拍出量測定装置 自己血回収装置 パノラミックＸ線撮影装置 全自動免疫化学分析装置 全自動ＰＨ血液ガス分析装置 多科用パルスコープシステム 人工呼吸器 搬送用人工呼吸器 セントラルモニターシステム 移動用無菌装置 ポリグラフ 電子内視鏡システム シャワー殺菌水装置 頭蓋内測定装置 パースパルスヤグレーザー 非侵襲脳内酸素飽和度監視装置 膜型血漿交換用装置 輸血用血液専用放射線照射装置 ICU診療情報システム 補助循環遠心型血液ポンプ 超音波診断装置 デジタル脳波計 MRI 除細動器 他	可

4 備考

平成10年5月15日付医厚第145号にて救命救急センター指定

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,191人 (2,682人)
上記以外の救急患者の数	6,651人 (2,881人)
合計	10,842人 (5,563人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(第14号様式) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

コンピューター断層撮影(CT)	1,396件
磁気共鳴コンピューター断層撮影(MRI)	1,349件
超音波検査(乳腺、甲状腺、腹部エコー)	29件
ラジオアイソトープ(RI検査)	18件
IVR(血管造影検査)	0件
共同利用を行った医療機関数	56件
共同利用を行った医療機関延べ数	2,792件
(開設者と直接関係ない医療機関延べ数 2,792件、病床利用率 0%)	
病床利用	0件

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

コンピューター断層撮影(CT)
磁気共鳴コンピューター断層撮影(MRI)
超音波検査(乳腺、甲状腺、腹部エコー)
ラジオアイソトープ(RI検査)
IVR(血管造影検査)
図書室
受託検査(施設及び事業所)
マイタウンホール
多目的ホール
会議室
開放型病床

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有 ☐ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名 :

職 種 : 地域医療連携室課長

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

処 務 規 程

那須赤十字病院

令和 5年 4月 1日

- ク 救命救急センターの受付及び事務に関すること。
- ケ その他、医療における感染管理に関すること。

第17条 教育研修推進室においては、次の業務を分掌する。
ア 臨床研修の企画、実施及び評価に関すること。
イ 臨床研修関連機関等との連絡・調整に関すること。
ウ 学会認定の専門医、指導医の育成に関すること。
エ 医師等の生涯教育に関すること。
オ 救命救急センターの受付及び事務に関すること。
カ その他教育研修に係る調整に関すること。

第18条 がん診療対策推進室においては、次の業務を分掌する。
ア がん拠点病院として、がん診療業務に関すること。

第19条 地域医療連携室においては、次の業務を分掌する。
ア 紹介患者に関すること。
イ 紹介患者の事前予約に関すること。
ウ 返書管理に関すること。
エ 地域医療連携室に関わる院内及び院外への広報に関すること。
オ 地域医療機関との懇談会及び研修会に関すること。
カ 紹介患者に係る統計事項に関すること。
キ 地域医療連携委員会に関すること。
ク 共同利用の円滑な実施に関すること。
ケ その他地域医療連携支援に関すること。
コ 救命救急センターの受付及び事務に関すること。

第20条 病床管理室においては、次の業務を分掌する。
ア 入院患者のベッドコントロールに関すること。

第21条 訪問看護ステーションにおいては、次の業務を分掌する。
ア 健康保険法及び老人保健法に規定されている指定訪問看護事業に関すること。

(共通事務)

第22条 第3条から第21条までに規定するもののほか、各部課においては、次の事務をつかさどる。
(1) 直接使用している建物及び諸施設の保全に関すること。
(2) 所属物品等の保管に関すること。
(3) 業務日誌等の記載に関すること。
(4) 所属の文書、簿冊及び諸記録の保管に関すること。
(5) 統計資料の作成に関すること。

(特命事項)

第23条 院長は、第3条から第22条までの規定にかかわらず、特に職員を指定して事務を処理させることができる。

第3章 運 営★★★★★★

(幹部会議)

第24条 病院全般について、幹部職員院長、副院長、事務部長、看護部長のみが討議し、審議する。ただし、院長が必要と認める職員の出席を求めることができる。
幹部会議で決定された方針中、重要事項については病院管理会議に提出され審議される。
病院管理会議での決定事項は業務連絡会議において伝達され、全職員に周知される。
幹部会議で決定された重要事項以外の案件は、その都度、担当部課に連絡され実行に移される。

(病院管理会議)

第25条 病院に業務の管理、運営に関する重要事項を審議するため、病院管理会議を置く。
2 病院管理会議は、院長、副院長及び部長をもって組織し、院長が定時又は随時に招集し、その議長となる。ただし、院長が必要と認めるときは、院長の指名する職員を出席させることができる。

(審議事項)

第26条 病院管理会議においては、次の事項を審議する。
(1) 業務運営の一般方針に関すること。
(2) 業務計画及び財政計画の策定に関すること。

院外依頼画像診断手順

1、依頼診療所・病院 → 連携課に TEL (0287-23-9777) (下記①②③)

① 依頼検査項目および部位

CT・MRI・シンチ・エコー・マンモグラフィー・冠動脈 CTA など

② 患者氏名・生年月日・電話番号など基礎情報

・シンチグラムは、目的により曜日の指定あり

* 他の項目は、連携課に確認 調整を行う

③ 希望日 (時間調整は、予約状況に応じて対応)

2、連携課 → 依頼診療所・病院に FAX (下記④⑤)

④ 検査予約票

⑤ 患者情報記入用紙

3、依頼診療所・病院 → 連携課に FAX (0287-23-9991)

⑤に必要事項を記入し、患者の同意を得て FAX

* 事前に⑤の情報を得、速やかに検査に案内する

4、予約当日患者来院 1 番カウンターにて受付 → 画像診断受付にてオリエンテーション後、放射線科への案内 検査実施

依頼元からの診療情報提供書を確認、患者氏名・依頼元・検査内容を照合する

⑥「造影剤使用に関する質問項目」を確認

* オリエンテーション内容 (検査実施の流れおよび造影剤使用に関する注意事項など)

5、検査終了後、フィルムと CD-ROM を患者に渡し、次回診察時持参することを説明

6、那須赤十字病院放射線科 → 依頼診療所・病院に FAX (下記⑦)

撮影終了しだい放射線科診断部にて読影、画像診断を行う

⑦画像診断結果作成

⑧画像データ (フィルム・CD-R) は、依頼元データとして患者が依頼元に持参

7、依頼診療所・病院にて患者診察時画像診断の結果を説明

画像診断機器運用規定（院外依頼）

【運用機器範囲】

・ CT ・ MRI ・ RI ・ 超音波

【運用時間】

月・金・日曜祝祭日、第2・第4・第5土曜日を除く毎日

9：00－11：00 （但し、土曜日は9：00－11：00）

13：30－15：30

予約受付は、平日8：30－16：50 第1・3土曜日は、8：30－12：30

電話：0287-23-9777（地域医療連携室）

【運用時のお願い】

- 緊急時を含め、電話により「地域医療連携室」にて予約を受け、事前に使用機器、目的を明確にしておく。
- 当日来院時は、放射線科宛「診療情報提供書」を発行、持参する。
- 造影剤使用の可能性については事前に、かかりつけ医から説明しておき、来院時に造影剤の説明とチェックリストのチェックを当院担当者が行う。造影剤のアレルギー情報等あれば事前に情報提供を行う。
- 患者は、当院放射線科専門医の間診を受ける。
- 撮影後は、フィルム又は CD-R を患者に渡し、患者が、かかりつけ医に持参する。
- 画像診断の結果は、原則当日 FAX にて送信する。
- 患者への説明は、かかりつけ医が行う。
- 帰宅後の造影剤アレルギー反応の出現時は、原則的にかかりつけ医で処置を受ける。受診不可の場合には、当院にて処置を行う。
- 画像診断により、緊急的に治療の必要性が認められた場合には、当院救急センターにて治療を開始、その旨放射線科担当医師よりかかりつけ医に報告をする。

那須赤十字病院開放型病床運営規程

第1条（目的）

この規程は、那須赤十字病院（以下「病院」という。）内に開放型病床を設置し、病院担当医師（以下「主治医」という。）と地域の医師または歯科医師が互いの情報を共有することにより、患者に対する確かな医療ならびに地域完結型医療を提供することを目的とする。

第2条（開放型病床の設置）

病院は、一般病床の中から5床を開放型病床として設置する。

- 2 毎朝8時30分に5床を確保する。

第3条（利用について）

地域の医師または歯科医師が、病院の地域医療連携室に電話にて申し込む。

- 2 申し込みは平日の8時30分から17時30分までとする。

（第2・第4・第5土曜日、祝祭日、7月1日、12月29日から1月3日を除く）

第4条（診療）

地域の医師または歯科医師は、患者の診療等を主治医と共同で行うものとする。

- 2 患者の退院決定についても共同で行うものとする。
- 3 地域の医師または歯科医師が共同診療を行う場合は、あらかじめ主治医との日程調整を行わなければならない。

第5条（診療責任）

開放型病床に入院中の患者の管理は、病院の責任において行うものとする。

第6条（その他）

この規定の運営ならびに改定については、那須赤十字病院地域医療支援連絡会にて協議を行うものとする。

付則 この規定は平成24年7月1日より実施する。

平成26年3月1日 一部改定「開庁日追加」 第3条2項「第5土曜日を追加」

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名
青柳医院	青柳 直大	大田原市中央2-1-2	内、小、皮、泌
赤羽医院	赤羽 正史	大田原市城山2-5-29	内、小、外、整外、皮、泌、肛
あさかクリニック	若江 恵利子	大田原市浅香3-3711	内、小、外、整外
阿部内科	阿部 好一郎	大田原市佐久山2018	内、消、循、小、皮
せいいかいメディカルクリニックNASU	菅生 太朗	大田原市町島200-8	内、循内、他
磯医院	磯 政裕	大田原市黒羽向町8	内、消、胃、外、小
井上眼科医院	井上 直紀	大田原市山の手1-2-11	眼
江部医院	江部 寛	大田原市黒羽向町60	内、神内、消、循、小、リハ
大田原中央クリニック	八代 忍	大田原市中央1-3-15	整外、漢内、リハ
介護老人保健施設 椿寿荘	石倉 義彌	大田原市末広1-2-5	
鎌田浅香医院	鎌田 美樹雄	大田原市浅香3-3578	内、消内、循内、小、皮、神内
河島クリニック	河島 俊文	大田原市中央2-9-32	内、消内、外、肛、
木戸内科クリニック	木戸 幸一	大田原市美原2-2831-153	内、小
ときながメンタルクリニック	時永 昇	大田原市美原2-3196-52	精神、心内
車田医院	車田 宏之	大田原市大豆田457-24	内、小
くろばね齋藤醫院	齋藤 暁美	大田原市黒羽田町612	内、循、小
国際医療福祉大学クリニック	前田 眞治	大田原市北金丸2600-6	内、精、整外、耳、リハ、歯、小歯、歯口
小林内科外科医院	小林 伸久	大田原市富士見1-16	内、耳、消内、他
齊藤内科医院	齊藤 大幹	大田原市新富町3-4-18	内、呼内、循内、消内、腎内、外、泌内、他
だいなリハビリクリニック	近藤 健	大田原市紫塚3-2633-10	内、整外、リハ、形外
高久内科医院	高久 多希朗	大田原市中田原773-8	内、呼内
なすのがはらクリニック	高橋 貞夫	大田原市滝沢355	内、消、ア、小
高橋外科医院	高橋 敏	大田原市住吉町1-11-20	内、外、整外、呼内、循内、胃内、肛外、泌、漢内、性内、ア
高山クリニック	高山 五郎	大田原市本町1-2703-182	形外、皮

那須中央病院	吉川 一郎	大田原市下石上1453	内、神内、呼内、消内、循内、血、ア、リ、小、外、整外、形外、脳外、呼外、消外、乳、肛皮、リハ、麻、歯、矯正歯、歯口他
なす療育園	下泉 秀夫	大田原市北金丸2600-7	内、小、整外、リハ、歯、他
野崎皮膚科	野崎 重之	大田原市末広3-3004-2	皮
橋本内科クリニック	橋本 憲一	大田原市元町1-2-14	内、呼、小
原眼科医院	原 裕	大田原市末広1-5-27	眼
藤田医院	藤田 茂信	大田原市野崎2-7-14	内、胃、外、肛
益子医院	十河 寛	大田原市大久保266	内、呼、胃、循
益子クリニック	益子 仁	大田原市黒羽田町827	内、呼
増山医院（小滝）	増山 茂樹	大田原市小滝1107-6	内、ア、小、外
増山医院（佐良土）	増山 伸夫	大田原市佐良土861	内、循、ア、小、皮
増山胃腸科クリニック	増山 仁徳	大田原市加治屋83-413	内、消
松井医院	松井 秀雄	大田原市城山1-2-3	内、消
室井病院	室井 秀太	大田原市末広1-2-5	内、精、心内、消内、循内
吉成小児科	吉成 仁見	大田原市新富町2-1-22	小
阿久津整形外科	阿久津 政司	那須塩原市永田町3-16	内、リ、外、整外、リハ
石塚産婦人科	郡山 智	那須塩原市三島2-14-9	産婦
いしばし眼科	石橋 生朗	那須塩原市睦146-12	眼
大島内科小児科医院	大島 健一	那須塩原市錦町4-20	内、呼、消、循、小、皮
大原クリニック	大原 栄	那須塩原市東三島3-67	内、小、眼、耳
尾形クリニック那須	米田 尚弘	那須塩原市沓掛2-10-3	内 他
ムラキクリニック	村木 淳郎	那須塩原市沓掛3-8-25	内、泌、外
金澤医院	金澤 正邦	那須塩原市中央町1-8	内、消、循、小
菅間記念病院	竹内 丙午	那須塩原市大黒町2-5	内、神内、呼内、消内、循内、外、整外、脳外、小、皮、泌、性、肛、婦、耳、リハ、放、麻歯、小歯、歯口、他
きくち内科クリニック	菊地 紀明	那須塩原市下田町531-130	内
黒磯病院	小林 進	那須塩原市高砂町3-5	内、胃、小、外、整外、肛

国際医療福祉大学病院	鈴木 裕	那須塩原市井口537-3	内、心内、精、神内、呼内、消内、循内、ア膠、糖、腎、小、整外、形外、脳外、呼外、消外、循外、美外、乳、皮、肛、泌、産婦、眼、耳、リハ、放、麻、歯口、心外、他
小関整形外科	小関 邦彦	那須塩原市扇町12-12	整外、リハ
小沼内科胃腸科クリニック	小沼 宏徳	那須塩原市西朝日町6-42	内、胃、小
さいとうクリニック	齋藤 茂子	那須塩原市西幸町7-13	内、小、麻
佐藤医院	佐藤 嗣人	那須塩原市西栄町7-16	内、小、皮
高澤クリニック	高澤 泉	那須塩原市緑1-8-472	内、外、肛、他
滝田メディカルクリニック	瀧田 雅仁	那須塩原市本町9-26	内、胃、外、皮、泌、肛
栃木県医師会塩原温泉病院	森山 俊男	那須塩原市塩原1333	内、神内、リ、整外、リハ、他
那須あいクリニック	久光 愛	那須塩原市沓掛3-12-2	整
那須高原クリニック	佐藤 英智	那須塩原市唐杉31-2	内、呼、ア、リ、小、整外
那須こころの医院	石川 純一	那須塩原市方京1-16-2	心内、精
なすこどもクリニック	福田 啓伸	那須塩原市沓掛2-19-1	小、ア
那須北病院	橋本 雅章	那須塩原市野間453-14	内、神内、循内、脳外、リハ、放
なすのクリニック	渡邊 敏郎	那須塩原市共聖社83-24	内、糖内、消内、循内、整外、リハ
那須訪問診療所	田中 泰道	那須塩原市豊浦10-706	訪
西那須野内科循環器科クリニック	鈴木 明裕	那須塩原市永田町7-13	内、呼、循
はらクリニック	原 孝志	那須塩原市東三島4-54-7	内、胃、外
福島整形外科病院	福島 稔	那須塩原市弥生町1-10	整外、リハ
ふくだ内科クリニック	福田 裕昭	那須塩原市新町115-3	内、消内
ふじおか内科小児科	藤岡 隆庸	那須塩原市豊浦93-15	内、小
藤田産婦人科医院	藤田 健一	那須塩原市宮町5-19	内、外、産婦人
ぽっぽクリニック	赤羽 鷹行	那須塩原市石林666-10	内、外
ふみの耳鼻咽喉科クリニック	田沼 文	那須塩原市沓掛1-11-5	耳
ブリヂストン栃木診療所	山本 栄二	那須塩原市上中野10	内、泌
みずぬまクリニック	水沼 裕光	那須塩原市東三島2-80-6	内、呼、循、小

みどりクリニック	橋本 俊久	那須塩原市一区町160-1	内、呼、消、胃、循、小、外、 整外、皮、泌、眼、耳、リハ、 放、麻
緑の杜クリニック	木平 健	那須塩原市大原間西1-6-7	内、消、ア、皮
三森医院	三森 薫	那須塩原市宮町1-19	内、呼、胃、循、小、外、皮、 放
宗形医院	宗形 光敏	那須塩原市弥生町9-16	内、小
渡部医院	渡部 伊織	那須塩原市大原間140-1	内、呼、消、循、小、皮、泌 性、放
塩田医院	塩田 章人	那須町寺子丙1-14	内、呼、消、胃、循、皮泌
田崎医院	田崎 洋太郎	那須町寺子丙1	内、消内、循内、小、外、皮 泌、産婦
立花医院	立花 隆司	那須町寺子乙3967-190	内、消、小
あしのメディカルクリニック	塚原 純雄	那須町寺子丙1-397	内、外、整外、皮、放、麻
那須高原病院	高野 謙二	那須町高久甲375	内、精、神、神内、呼、循、皮
見川医院	見川 泰岳	那須町湯本212	内、心内、精、神、小
もみの木医院	川口 幸夫	那須町高久丙1195-701	内、消、循、ア、小、皮、放
上田医院	上田 明彦	矢板市末広町32-2	内、消、循、整外、リハ
尾形クリニック	尾形 享一	矢板市末広町45-3	内、呼、消、循、外、整外、泌 リハ、放
かるべ皮膚科小児科医院	軽部 敏昭	矢板市木幡1324	小、皮
きうち産婦人科医院	山田 哲夫	矢板市富田548-1	産婦
国際医療福祉大学塩谷病院	佐藤 敦久	矢板市富田77	内、神内、呼内、消内、循内、 血、小、外、整外、脳外、消外
後藤医院	後藤 哲郎	矢板市末広町63-9	内、小
佐藤病院	佐藤 勇人	矢板市土屋18	内、精、皮
西川整形外科	西川 晋介	矢板市乙畑1453-3	神、リ、外、整外、リハ
橋本医院	橋本 敬	矢板市泉377-5	内、消内
村井医院	村井 信之	矢板市扇町1-10-28	ア、耳、気、リハ
村井胃腸科外科クリニック	村井 成之	矢板市木幡1308-20	内、消内、循内、外、整外、消 外、小外、皮、泌、肛、耳、気 外、リハ、放、他
矢板南病院	塚本 俊彦	矢板市乙畑1735-9	内、外、皮、麻、整外、他
谷仲医院	谷仲 昭夫	矢板市片岡2096-84	内、小、外、皮、産、放
山田クリニック	山田 聡	矢板市片岡2146-3	内、胃、小

氏家病院	松村 茂	さくら市向河原4095	内、精、神、消、麻、齒
岡医院	岡 一雄	さくら市桜野9280-8	内、小、循
かとう眼科	加藤 健	さくら市氏家2565-9	眼
黒須病院	手塚 幹雄	さくら市氏家2650	内、神内、呼、消、胃、循、外 整外、脳外、呼外、小、皮、泌 リハ、放、麻
小林医院	小林 正樹	さくら市喜連川4347-2	内、呼、消、循、小
さくら産院	泉 章夫	さくら市氏家2190-5	内、婦、産
佐藤クリニック	佐藤 泉	さくら市卯の里1-17-1	内
佐野医院	佐野 哲郎	さくら市喜連川4413	内、呼、消、小、外、整外
高瀬小児科医院	仲澤 博子	さくら市氏家1916	内、小、皮
仲嶋医院	仲嶋 秀文	さくら市氏家3245-17	内、消、循、小
にし内科ハートクリニック	西 悠	さくら市氏家3390-5	内、循
花塚クリニック	花塚 和伸	さくら市喜連川841-1	内、消内、他
檜山医院	檜山 清水	さくら市桜野1220	内、小、皮
おのこどもクリニック	小野 三佳	さくら市狹間田1923-1	小
桜ヶ丘内科・呼吸器科クリニック	桂 秀樹	さくら市桜ヶ丘3-1-1	呼内
阿久津クリニック	阿久津 昌子	那須烏山市金井2-1-6	内、消、外、整外、皮
近藤クリニック	近藤 克昭	那須烏山市野上637-2	内、呼、消、循、小
塩谷医院	塩谷 眞悦	那須烏山市田野倉183	内、外
那須南病院	宮澤 保春	那須烏山市中央3-2-13	内、神内、循内、小、胃、循外 整外、脳外、呼外、小
那須烏山市熊田診療所	有我 直宏	那須烏山市熊田555	内、外
那須烏山市国民健康保険七合診療所	本間 真二郎	那須烏山市中山137	内、小
烏山台病院	杉浦 啓太	那須烏山市滝田	内、精、神、循
水沼医院	水沼 洋文	那須烏山市金井1-14-8	内、消、小、外、整外、皮
山野クリニック	山野 和成	那須烏山市中央2-4-3	内、神内、循
大和田内科	大和田 信雄	塩谷町道下807-1	内、循内、心内、糖内、代内、 内分内
風見診療所	小島 崇	塩谷町上平27	内、小、外
阿久津医院	阿久津 博美	高根沢町大谷176-1	内、消内、循内、小、外
小林内科医院	小林 祐一郎	高根沢町宝積寺2261-23	内、呼、消、循、小

谷口医院	谷口 雄一	高根沢町宝積寺1038	内、心内、精、小、皮、美皮、産婦
中津川循環器内科クリニック	中津川 昌利	高根沢町宝積寺2388-5	内、呼、循、ア、小
深澤クリニック	深澤 孝夫	高根沢町平田1920-1	内、心内、神、循、ア、リ、小 整外、皮、麻、他
まなか医院	廣木 昭彦	高根沢町石末2093-10	内、ア、リ、小、外、整外、皮 リハ
高根沢中央病院	青木 洋	高根沢町光陽台3-16-1	内、呼、消、胃、循、ア、外、 整外、呼外、皮、肛、リハ、放
飯塚医院	木村 透	那珂川町馬頭484-3	内、皮、小
上野医院	上野 顕	那珂川町小川700	内、胃、循、小
坂本クリニック	坂本 修一	那珂川町北向田187	内、外、皮、泌
佐藤医院	佐藤 充	那珂川町小川2960-1	内、小
白寄医院	杉本 美幸	那珂川町馬頭464-1	内、外
高野病院	高野 和彦	那珂川町馬頭2068	内、神内、小、外、整外、皮、 眼、耳、リハ、放
石川歯科医院	石川 俊一郎	那須烏山市金井1-8-4	歯、矯歯、小歯、歯口

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(第15号様式) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	15回
(2) (1) の合計研修者数	206人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ☒ 有・無

イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	内科	病院長	43年	
	医師	産婦人科	統括顧問	45年	
1	医師	内科	副院長	38年	
	医師	外科	副院長	36年	
2	医師	脳神経外科	副院長	38年	教育責任者
	医師	内科	呼吸器・アレルギー内科部長	27年	
	医師	内科	リウマチ・膠原病内科部長	26年	
	医師	内科	脳神経内科部長	27年	

医師	内科	血液内科部長	21年	
医師	内科	循環器内科部長	20年	
医師	内科	腎臓内科部長	32年	
医師	内科	消化器内科副部長	24年	
医師	内科	循環器内科副部長	17年	
医師	内科	循環器内科副部長	14年	
医師	内科	緩和ケア部長	23年	
医師	内科	超音波診断副部長	13年	
医師	小児科	小児科部長	14年	
医師	小児科	小児科副部長	9年	
医師	外科	外科部長	48年	
医師	外科	外科部長	26年	
医師	外科	外科部長	21年	
医師	外科	外科部長	24年	
医師	外科	外科副部長	17年	
医師	外科	外科副部長	18年	
医師	形成外科	形成外科副部長	8年	
医師	整形外科	整形外科部長	26年	
医師	整形外科	関節外科部長	21年	
医師	整形外科	脊椎外科部長	23年	
医師	整形外科	リハビリテーション科副部長	13年	
医師	脳神経外科	脳神経外科部長	19年	
医師	脳神経外科	脳神経外科部長	23年	
医師	泌尿器科	腎泌尿器外科部長	26年	
医師	泌尿器科	腎泌尿器外科部長	25年	
医師	産婦人科	産婦人科部長	13年	
医師	麻酔科	麻酔科部長	28年	
医師	麻酔科	麻酔科部長	33年	
医師	麻酔科	麻酔科副部長	13年	
医師	検査部	検査部長	39年	
医師	検査部	病理診断科副部長	9年	
医師	呼吸器外科	呼吸器外科部長	29年	
医師	救急科	救命救急センター長	27年	
医師	救急科	救急集中治療部長	18年	
医師	放射線科	放射線治療科部長	36年	

※	医師	歯科口腔外科	歯科口腔外科部長	32年	
	医師	歯科口腔外科	歯科口腔外科部長	24年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4

研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要(主な設備)
シミュレータールーム	26.87㎡	電子カルテ用パソコン インターネット接続環境
マイタウンホール	246.45㎡	プロジェクター、音響設備一式 エリア監視カメラ
多目的ホール	164.363㎡	電子カルテ用パソコン、 インターネット接続環境 テレビモニター移動式
カンファレンス室	51.67㎡	電子カルテ用パソコン、 インターネット接続環境 テレビモニター移動式
会議室1	21.58㎡	電子カルテ用パソコン、 インターネット接続環境 テレビモニター移動式
会議室2	20.94㎡	電子カルテ用パソコン、 インターネット接続環境 テレビモニター移動式
会議室3	24.38㎡	電子カルテ用パソコン、 インターネット接続環境 テレビモニター移動式
会議室4	23.50㎡	電子カルテ用パソコン、 インターネット接続環境 テレビモニター移動式
会議室5	23.50㎡	電子カルテ用パソコン、 インターネット接続環境 テレビモニター移動式
会議室6	23.50㎡	電子カルテ用パソコン、 インターネット接続環境 テレビモニター移動式
会議室7	23.50㎡	電子カルテ用パソコン、 インターネット接続環境 テレビモニター移動式
オペレーター訓練室	47.00㎡	電子カルテ用パソコン インターネット接続環境
図書室	51.79㎡	コピー機1台、ファクシミリ1台 パソコン5台(電子カルテ用パソコン含) インターネット接続環境 移動スライド式書架
研修医室	21.27㎡	電子カルテ用パソコン インターネット接続環境

救命救急センター	466.86㎡	脳波計、誘発電位検査装置、 コードレス移動型X線装置、代謝モニター 手術用顕微鏡、デジタルシネ装置、 pEEGモニター、搬送用人工呼吸器、 超音波診断装置、 セントラルモニターシステム デジタル脳波計、除細動器など
----------	---------	---

1.研修の内容（別紙）

開催日時	研修項目	題名	担当	院外参加
令和6年4月17日	大田原内科懇話会	症例検討	放射線診断科部長	12
令和6年5月13日	第1回合同カンファレンス	感染症の発生状況、抗菌薬の使用状況等についての報告・情報共有		8
令和6年5月15日	大田原内科懇話会	症例検討	放射線診断科部長	11
令和6年6月14日	第1回歯科口腔外科医療連携セミナー	未来につながる顎骨再構築		26
令和6年6月19日	大田原内科懇話会	症例検討	放射線診断科部長	13
令和6年6月26日	心不全の緩和ケア・在宅診療を考える会			3
令和6年7月6日	がん患者さんの自殺を防ぐためにできること			13
令和6年7月17日	大田原内科懇話会	症例検討	放射線診断科部長	13
令和6年7月22日	第8回県北健康圏緩和ケア地域連携カンファレンス	症例で選ぶ緩和ケア地域連携		31
令和6年8月21日	大田原内科懇話会	症例検討	放射線診断科部長	9
令和6年9月9日	第2回合同カンファレンス	感染症の発生状況、抗菌薬の使用状況等についての報告・情報共有		10
令和6年10月10日	第3回合同カンファレンス	新興感染症【疑似症患者含む】等の発生を想定した実地訓練		22
令和6年10月16日	大田原内科懇話会	症例検討	放射線診断科部長	11
令和6年11月19日	大田原内科懇話会	症例検討	放射線診断科部長	12
令和6年12月17日	大田原内科懇話会	症例検討	放射線診断科部長	12

(第16号様式) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	事務部長
管理担当者氏名	診療支援課長

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録	病院日誌	総務課	1年単位でファイルし倉庫保管
	病棟日誌	各病棟	1年単位でファイルし倉庫保管
	処方箋	薬剤部	各病棟1日分を纏め、薬剤部で月単位で倉庫保管
	手術記録	診療支援課	電子カルテ内保管
	看護記録	診療支援課	電子カルテ内保管
	検査所見記録	診療支援課	電子カルテ内保管
	エックス線写真	放射線科	フィルムレス、サーバー内保管
	紹介状	診療支援課	スキャンにて電子カルテ内保管 タイムスタンプを付与
	患者退院に関わる入院期間中の診療経過の要約	診療支援課	電子カルテ内保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	
	閲覧実績	診療支援課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(第17号様式) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務部長
閲覧担当者氏名	地域医療連携室 課長 診療支援課 課長
閲覧の求めに応じる場所	患者サポートセンター内 相談室
閲覧の手続の概要 閲覧を希望申し出⇒ ① 地域医療福祉連携課 *閲覧可能である職種であることを確認 *閲覧範囲と目的を確認 *閲覧希望日の確認 ② 地域医療福祉連携課内閲覧担当者は、閲覧書類管理部門長に報告、必要書類を準備 ③ 閲覧当日、本人確認の上「患者サポートセンター内 相談室」に案内、閲覧 ④ 閲覧終了後、閲覧実施記録を残す	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(第18号様式) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回	
委員会における議論の概要		
○令和6年度第1回那須赤十字病院地域医療支援連絡会 日時：令和6年4月16日（火）19時00分～ 場所：那須赤十字病院 マイタウンホール 出席者：院外委員 院内委員 事務局 ○令和6年度第2回那須赤十字病院地域医療支援連絡会 日時：令和6年7月16日（火）19時00分～ 場所：那須赤十字病院 マイタウンホール 出席者：院外委員 院内委員 事務局 ○令和6年度第3回那須赤十字病院地域医療支援連絡会 日時：令和6年12月17日（火）19時00分～ 場所：那須赤十字病院 マイタウンホール 出席者：院外委員 院内委員 事務局 ○令和6年度第4回那須赤十字病院地域医療支援連絡会 日時：令和7年3月18日（火）19時00分～ 場所：那須赤十字病院 マイタウンホール 出席者：院外委員 院内委員 事務局		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

議事録

表 題	令和 6 年度第 1 回那須赤十字病院 地域医療支援連絡会(現地開催)	管理番号	栃那病携第 18 号		
		作成者	地域医療連携室		
		承 認	審 査	担 当	

開催日時	2024年4月16日(火)19:00~19:45	次回日時	2024年7月 予定
開催場所	那須赤十字病院 マイタウンホール	次回場所	那須赤十字病院 マイタウンホール
出席者	【院外】 【院内】 赤：欠席. 青：代理		
議題	意見交換（配付資料参照）		
配布資料 その他	規約、会次第、会員名簿、席次表、 ppt スライド（地域医療支援病院としての現況報告、アンケート結果報告）		
配布先	出席者全員		

進 行 内 容	発言者 (敬称略)
-開会挨拶- - 皆さんこんばんは。本日はお忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。開会の前に配付資料のご確認をお願い致します。本連絡会の規約、次第、会員名簿一覧、座席表、パワーポイント資料。不足分等がございましたら当院職員まで。駐車券の無料化をされておられない方がおりましたら併せてお声かけ下さい。お帰り時のお出口は、夜間救急入口・防災センター前をご利用下さい。 - それでは定刻となりましたので、令和6年度第1回地域医療支援連絡会を開会致します。本日、司会進行を務めさせていただきます地域医療連携室の と申します。本日の出席状況については会員名簿一覧のとおり。4月より規約の第2条の構成、薬剤師会が追記になっておりますので併せてご確認ください。それでは次第に測り進行して参ります。 挨拶 1. 那須赤十字病院 - 着任して3年目となりました。この地域は医療体制が脆弱であり、当院は地域全体の医療体制の底上げをしていく使命があると思っています。医師の確保に2年かかってしまいま	

したが、消化器外科、乳腺外科、産婦人科、麻酔科の常勤医が増えました。昨年度までと比べて、今年度はより医師確保が期待できると思います。また、私は顔の見える連携を重視しております。就任当初はコロナ渦で、このような機会を設ける事が出来ませんでした。が、昨年度の第4回目から参集で連絡会を開催する事が出来ました。本日は第1回目で、当院もメンバーが替わりました。後ほど紹介させていただきます。引き続き、全身全霊をかけて地域の医療向上に尽くして参りますので、どうぞ宜しくお願いします。

2. 那須郡市医師会 会長 〃 先生

- ・この連絡会は、このようなメンバーで開催し、医師会・行政からの意見交換の場としてとても有意義な会であると思います。我々からのお願いはいつも1つで、我々の紹介患者をスムーズに受入れをお願いしたいです。治療が落ち着き次第、また我々の所に逆紹介して欲しいです。それが我々の強い希望です。遠い昔は、日赤に紹介すると患者が戻ってこない、日赤に患者を取られるので紹介しない方がいいと先輩に言われました。今は患者さんの希望を聞きながら、日赤に紹介をしております。診療報酬改訂があり、診療所、特に内科系の診療所にとってはマイナス改定となりました。そんな中政府は賃金を上げろと言います。収入が減るのに賃金を上げるのは大変厳しいです。これから2年間、様々な不満が出てくると思います。病院もなかなかプラスにはならない状況のようです。この現状に負けずに、病院、診療所と一丸となって頑張っていかなければと思います。今後も宜しくお願いします。

3. 地域医療連携室 課長

- ・今年度4月より地域連携室課長を拝命しました。申します。より一層のスムーズな連携を目指して精進して参りますので、宜しくお願いいたします。

4. 自己紹介

- 各自自己紹介（院外）
- 各自自己紹介（院内）

-5. 地域医療支援病院としての現況報告-

5-1. 紹介件数（令和3年度～令和5年度比較）

- ・令和4年度以前と比較して紹介件数は増加傾向を維持。1月から3月においては約1,460件。令和5年度の月平均は1,590件。引き続き当院へのご紹介を宜しくお願い致します。

5-2. 逆紹介件数（令和3年度～令和5年度比較）

- ・令和4年度以前に比べて1,000件を超える状況。月の平均は1,070件。皆様のご協力とご理解に対して大変感謝しております。

5-3. 紹介率（令和4年度～令和5年度比較）

- ・紹介件数と同じく向上継続。施設基準における紹介率の目標達成値においても、65%超えを継続。月平均は90%。更に高い数値を目指し取り組みを継続してい参ります。

す。診療内容は記載のとおりで、口腔腫瘍を中心に顔面外傷・粘膜疾患・インプラント治療・矯正診療も行っております。本日も今現在口腔癌の手術中で、形成外科の先生が手術を行っている最中です。初診患者数ですが、月平均約 185 名ご紹介頂いております。手術件数は年間で、外来手術が 1,670 件、全身麻酔が 298 件となっております。当院での癌治療は歯科医師だけでは行いません。耳鼻科、形成外科、化学療法の専門医、放射線治療科とチームを組んで対応しております。スライドの下顎歯肉癌の場合、口腔外科で下顎を取った後にプレートを置いて、形成外科の先生が下顎骨の所に腓骨を入れて顎骨再建を行います。次のスライドは再建後の CT 画像ですが、このように顔面の構築を作って機能と審美が口腔外科の目標です。このような手術を行っております。次のスライドはインプラントです。インプラント診療は地域の先生方も沢山行われています。我々のインプラント治療は造骨といって、骨が足りない場合に鼻の所に骨を入れて行うインプラント手術をしております。次のスライドは、分かりづらいですが上顎洞に骨を入れてインプラントを立てています。造骨が必要なインプラント治療について今後ご紹介頂ければと思います。今後についてですが、今まで口腔癌の患者さんは都心の病院で治療を行う方が多かったですが、私達は地域完結型を目指しております。地域の患者さんが遠くの病院に行かずに、安心して地元の病院で診療を受けられるよう 5 人体制でアピールしていきたいと思っています。次に先進医療の導入で、先ほどお話ししたインプラント治療は日頃から行われておりますが、当科の役割として通常の方法ではインプラント手術が受けられないような造骨を必要とした症例に対して、大学病院との研究・連携・協力の下あらゆるケースに限りなく対応していきたいと考えております。説明は以上になります。ご静聴ありがとうございました。

・今の件について、ご意見ご質問等ございますか。

Q：インプラント治療を 10 年以上行っておりませんが、サイナリフトは人工骨で行っていますか。

A：今の人工骨は性質が良く、骨化も早いので主に人工骨で行っております。昔は腸骨から取って入れていましたが、今は人工骨を使っています。骨化が早い特殊な方法もありますので、大学病院と連携していきたいと思っています。また今の人工骨は精度が非常に良く、まともにも良いので、置換術も時間が早くなっています。

Q：大きさにもよりますが、安定するまでどのくらいの時間がかかりますか。

A：だいたい 5 ヶ月から 6 ヶ月間を置いていますが、人工骨を入れたと同時にインプラントを埋め込み、6 ヶ月待ってから上物を作る場合もあります。ケースバイケースです。通常 6 ヶ月を 1 つの目安として患者さんに説明しています。

・高齢化が進みまして、抜歯をするのにも全身管理が必要なケースが非常に多く助かっております。また、大田原地区ですが、ここ 10 年で 7 医療機関が閉院しております。今後、歯科医療体制が非常に困窮してくると思っております。そのような中で、今回スタッフが増員されるとのことで、益々お願いする機会が増えると思っております。時間外の急患も伊藤先生に快く受入れて頂いて非常に助かっています。この場を借りて厚く御礼申し上げます。引き続き宜しくお願いします。

・高根沢先生、温かいお言葉ありがとうございます。断らない事をモットーにしておりますので、今後も地域の歯科医師会の先生方ならびに医師会の先生方のお力になれるよう日々努力して参ります。今後とも何卒宜しくお願いいたします。

7. 那須地区夜間急患診療所利用者数

- ・夜間急患診療所の運営につきまして日頃より大変お世話になっております。それでは令和 5 年度の那須地区夜間急患診療所の利用者数の報告をさせていただきます。表の右上ですが、令和 5 年の利用者数は 1,825 人でした。前年度の 1,019 人と比較すると 806 人の増加、割合にして 79.1% の増加となります。次に住所別ですが、大田原市が 623 人で 34.1%、那須塩原市が 908 人で 49.8%、那須町が 103 人で 5.6% でした。その他は記載のとおりです。以上でご報告とさせていただきます。
- ・この会では、那須地区夜間急患診療所で診療した患者さんの中で、那須赤十字病院へ二次救急紹介した件数を報告しなければ意味が無いと思います。
- ・大変失礼致しました。表の下にある記載のとおり、那須赤十字病院に受入れて頂いた件数は 26 件となっております。宜しくお願いいたします。

8. アンケートについて

- ・55 歳女性、胆石胆嚢炎で 3/18 から 4/3 まで消化器内科で入院していた患者さんです。4/4 に連携室より送信した FAX が、退院報告のはずが死亡報告として記載されていました。翌日の 4/5 9 時 15 分に江部医院より連携室に連絡が入りました。この件に関して、当科課長の から説明させていただきます。
- ・この件は、退院報告のシステムを使用する際に、通常の退院フラグで処理すべき所を誤って死亡フラグで処理を行ってしまい、そのまま江部医院へ FAX 送信してしまいました。先生から連絡頂き、事実確認と早急にシステムの改善対策を行っております。死亡フラグに対して警告メッセージが出るようにして、ミスが起きないようにシステムの変更を実施しております。送ってしまった開業医の先生方には謝罪させていただきました。今後はこのようなミスが起きないように十分に注意して参りますので何卒宜しくお願いいたします。
- ・改めまして、今後このような事が起きないように注意して参ります。大変申し訳ございませんでした。

9. 質疑応答・その他

- ・那須塩原市の からです。コロナワクチン接種について報告します。4 月から定期接種となり、今まで無料でしたが自己負担が発生します。半額程度の助成について大田原市、那須町と協議しております。以上です。
- ・インフルエンザは 65 歳以上無料ですが、コロナワクチンは 65 歳以上もおおよそ 3,000 円程度の自己負担が発生するという事です。医師会としてお願いしたいのは、大田原市・那須塩原市・那須町と助成額を同じにしたいです。住んでいる地域によって金額の差が出ないようにお願いします。3,000 円払って、どのくらいの方がワクチン接種するかは分かりませんが、宜しくお願いします。

－閉会挨拶－

- ・次回開催は、7 月を予定しております。日程が決まり次第ご連絡させていただきます。これにて本日の支援連絡会を閉会いたします。本日はお忙しい中ありがとうございました。

(散会)

以上

5-4. 逆紹介率（令和4年度～令和5年度比較）

- ・逆紹介件数と同じく前年度の割合を継続。2月は94.4%、3月は100%超えと向上。施設基準における逆紹介の目標達成値40%超えを継続。令和6年4月14日現在、紹介率・逆紹介率ともに100%維持。

5-5. 歯科口腔外科紹介件数（令和3年度～令和5年度比較）

- ・令和5年度は向上傾向。月平均は125件。今年度から歯科医師が4人から5人に増え充足。今まで以上、当院へご紹介下さいますよう宜しくお願い致します。

5-6. 歯科口腔外科逆紹介件数（令和3年度～令和5年度比較）

- ・紹介件数と同じく増加傾向継続。令和5年度の月平均は105件。歯科医の先生方におかれましても、引き続きのご協力とご理解に大変感謝しております。

5-7. 紹介医からの救急受入れ率及び依頼総件数（連携室）

- ・1月においては他の施設でもクラスターが発生、転院調整が困難の状況。病床稼働率は95%から一時的に97%、そのため受入れ率は88%まで減少。2月以降はクラスターも落ち着き、月平均93%まで回復。令和5年度の月平均は117件、95%の受入れ。4月15日現在、依頼件数60件、受入れ率は100%と表記。4月16日の本日現在、依頼件数70件、100%の受け入れ率となっておりますので、進捗報告とさせていただきます。救急の受入れが必要な患者さんがおられましたら、当院へご紹介下さいますよう宜しくお願い致します。

5-8. 紹介医からの救急受入れ件数_年度比較（連携室）

- ・令和6年1月と2月の月平均は106件。3月については120件と増加傾向。令和5年度の月平均は110件。継続して受け入れ件数の向上に院内全体で取り組んで参ります。

5-9. 紹介医からの救急受入れ比率_年度比較（連携室）

- ・令和6年1月の受入れ率が88%まで減少した要因についてはご説明したところですが、2月以降は回復傾向。3月は94%まで回復。

5-10. 救急車受入れ件数・比率_令和元年～令和5年

- ・令和6年の2月時点、過去5年間の中で最も高い件数。応需率については87.9%と昨年度を上回る割合。

5-11. 救急車受入れ件数・比率_年度比較

- ・赤色の棒線グラフが令和5年度の救急車応需率。青い折れ線グラフが救急車受入れ件数。前年度と比較、いずれも増加傾向継続。現況報告は以上。

6. 歯科口腔外科の現況と今後

- ・改めまして歯科口腔外科の と申します。当科は昨年まで4人体制でしたが、今年度から自治医科大学より1名派遣があり、5人体制となりました。非常勤も3名おり、県北では割と大所帯で診療を行っております。昼夜問わず患者さんを受入れて診療に臨んでおりま

議事録

表 題	令和 6 年度第 2 回那須赤十字病院 地域医療支援連絡会(現地開催)	管理番号	栃那病携第 37 号		
		作成者	地域医療連携室		
		承 認	審 査	担 当	

[illegible]

進 行 内 容	発言者 (敬称略)
-事務連絡- - 皆さんこんばんは。本日はお忙し中お集まりいただき誠にありがとうございます。開会前に配付資料の確認をお願いします。不足分等ございましたら当院職員まで。駐車券の無料化をされておられない方がおりましたら併せてお声かけ下さい。 -開会挨拶- - それでは定刻となりましたので、令和 6 年度第 2 回地域医療支援連絡会を開会致します。本日、司会進行を務めさせていただきます地域医療連携室の、と申します。本日の出席状況については会員名簿のとおり。それでは次第に測り進行して参ります。 -挨拶- 1. <u>那須赤十字病院 院長</u> - 皆さんこんばんは。本年度第 2 回目の地域医療支援連絡会において、全ての委員の皆様にご参加していただいております。お忙しい中本当にありがとうございます。当院に赴任してから 3 年目になり、連携に関しては特に自分の想いを反映させ実績を上げてきた次第で	

あります。この後、現況報告にて具体的にお示ししたいと思います。令和5年度から地域医療連携室が院長直属の部署に変更となりました。地域医療連携室の声は院長の声という権限で連携させていただき、「先生方からの紹介患者は絶対にお断りしない。」というスタンスで行っています。また、逆紹介についてもお願いをして参りました。その他、6月より那須郡市医師会会長が 先生から 先生になりました。先生は以前より非常勤として当院に来て下さっており、いつもサポートしていただいている先生なので、当院の連携においても益々発展していくものだと思っております。また、前那須郡市医師会会長の先生は、栃木県医師会の会長になりました。県北からの医師会長は初めてであり、県北の地域医療にとっても大変喜ばしいことであります。地域の発展のもとこれからも地域の先生方との連携が重要になりますので、今後ともよろしくお願い致します。

2. 那須郡市医師会 会長 先生

- ・皆さんこんばんは。6月から那須郡市医師会会長に就任いたしました塚原です。どうぞよろしくお願い致します。先ほど 院長よりお話しがありましたが、以前より非常勤として勤務しておりますので那須日赤のことはよく理解しております。また、那須日赤との連携は継続して「密」に行いたいと思っております。先生が行っている連携という形が、ここ数年良くてきていると思っております。救急受け入れについては気軽に連絡できるようになり、依頼したほとんどの患者を快く引受けていただいている状況であるのため、本当に心強く思っております。これからもどうぞよろしくお願い致します。

3. 黒磯那須地区医師会 先生

- ・6月から黒磯那須地区医師会会長になりました、緑の杜クリニック院長の でございます。今後、皆様はじめ社会にとって貢献していく次第であります。今後ともよろしくお願い致します。

4. 地域医療支援病院としての現況報告

4-1. 紹介件数（令和4年度～令和6年度比較）

- ・令和5年度以前の紹介件数、月平均1,500件。令和6年度月平均1,643件、前年度比では月平均140件増加。今年度も増加傾向維持。

4-2. 逆紹介件数（令和4年度～令和6年度比較）

- ・令和5年度以前の逆紹介件数、月平均1,000件。令和6年度月平均1,120件、前年度比では月平均120件増加。

4-3. 紹介率（令和4年度～令和6年度比較）

- ・令和5年度以前、月平均85%。令和6年度月平均93%、8%向上。施設基準における紹介率目標達成値65%においては、継続して達成している状況。

4-4. 逆紹介率（令和4年度～令和6年度比較）

- ・令和5年度以前、月平均85%。令和6年度月平均91%、6%向上。施設基準における紹介率目標達成値40%においては、継続して達成している状況。

4-5. 歯科口腔外科紹介件数（令和3年度～令和6年度比較）

- ・令和5年度以前、月平均125件。令和6年度月平均135件。前年度比月10件向上。今年度から、歯科医師5名体制で診療を行っている旨、改めてのご報告。

4-6. 歯科口腔外科逆紹介件数（令和3年度～令和6年度比較）

- ・紹介件数同様、年々増加傾向継続。令和5年度以前、月平均102件。令和6年度月平均115件と増加傾向。

4-7. 紹介医からの救急受け入れ率及び依頼総件数（地域医療連携室）

- ・令和3年度平均、総件数61件、受け入れ率84%、令和4年度月平均78件、83%の受け入れ率。令和5年度月平均119件、95%の受け入れ率と大幅に向上。令和6年度月平均128件、96%の受け入れ率。件数、率ともに向上している状況。
- ・令和3年84%、令和4年83%、令和5年95%の受け入れ率、年々向上している状況。

4-8. 紹介医からの救急受け入れ件数_年度比較（地域医療連携室）

- ・令和6年度4月から6月までの受け入れ平均123件。以前年度比較、現状では安定して120件前後の受け入れ件数を維持。令和3年度、月平均61件。令和4年度月平均78件。令和5年度は月平均、111件まで向上。受け入れ件数が増減する月の傾向も明らかになってきております。引き続き院内で検証、検討、対策等を行っていく次第。

4-9. 紹介医からの救急受け入れ比率_年度比較（地域医療連携室）

- ・7月16日現在、100%の受け入れ率。令和6年度4月は97%、月平均95%の受け入れ率。前年度から安定した割合維持。

4-10. 那須地域救急車受け入れ件数・応需率（令和元年度～令和6年度）

- ・令和6年5月時点の数値。応需率ともに良好。応需率92%。以前年度を上回る割合。

4-11. 救急車受け入れ件数・応需率_年度比較（令和元年度～令和6年度）

- ・以前年度と比較、いずれも増加傾向。令和5、6年度の応需率は90%を超えている状況。引き続き院内全体で取り組んでいく次第。

5-1. 診療科紹介__外科（PPTスライド説明）

- ・私はこの地域で育ちました。この地域で皆様へ医療を行っていくことが最大の恩返しだと思っております。今後どのような患者さんでも構いませんので、皆様、是非とも我々を信頼していただけますと幸いです。
- ・先生は那須赤十字病院に今後も継続して居ていただけるのでしょうか？
- ・そのとおりです。今後ともよろしくお願い致します。

5-2. 診療科紹介__形成外科（PPTスライド説明）

- ・形成外科の症状なのか迷われた場合でもお気軽にご相談ください。先生方よりご紹介をしていただければ是非、診療をさせていただきます。先生方があつての当院の形成外科になりますので、今後とも何卒よろしくお願い致します。

6. アンケートについて

- ・今回、事前アンケートのご意見はありませんでした。ご意見や事例等がございましたら地域医療連携室までご連絡下さい。

7. 質疑応答・その他（トピックス等）

- ・コロナワクチンの予防接種助成額の進捗について6月の補正予算で可決致しました。自己負担3,000円。事務手続きはこれからですが、市町からの補助が3市町同様で4,000円の補助を想定しております。

・トピックス① 第15回がんの市民公開講座（資料参照）

- ・先生ご自身のご経験に基づいた内容の講演で、涙されていた方が多くいらっしゃったのが印象的です。先生ご自身も、会場の方々からの暖かい言葉等に涙される場面もありました。質疑応答では、様々なご相談等がありました。先生の親身な対応等に、会場の皆様からは、「大変参考になった。」「来て良かった。」等のご意見がありました。事務局からは、「来年も引き続き多くの方に寄り添った今回のような講演等を計画していきたい。」という言葉をお伺いしております。

・トピックス② 屋台まつり/日赤救護班活動（資料参照） 院長の指示のもと派遣しております。当日は急性アルコール中毒の方がおり、待機していた救護班が対応し当院にて診療後、無事に帰宅されております。医療社会事業部の社会課からは、「今後も多くの方々の安心と安全に努めて参ります。」という言葉をお伺っております。 ・トピックス③ 与一まつり参加について（資料参照） ・8月3日（土）に開催される与一まつりに、120名で参加予定。事務局からは、「皆で最優秀賞を目指して、精一杯盛り上げていきたい。」との意気込みをお伺っております。 ・その他 ・特になし。 －閉会挨拶－ ・次回開催は、10月15（火）を予定しております。詳細決まり次第改めてご連絡させていただきます。これにて、令和6年度第2回地域医療支援連絡会を閉会いたします。 （散会） 以上	（委員）
--	---

議事録

表 題	令和 6 年度第 3 回那須赤十字病院 地域医療支援連絡会(現地開催)'	管理番号	栃那病携第 3 号		
		作成者	地域医療連携室		
		承 認	審 査	担 当	

開催日時	2024年12月17日(火)19:00~20:40	次回日時	2025年3月18日 予定
開催場所	那須赤十字病院 マイタウンホール	次回場所	那須赤十字病院 マイタウンホール
出席者	【院外】 【院内】 赤：欠席 青：代理		
議題	意見交換（配付資料参照）		
配布資料	会次第、会員名簿、席次表		
その他	ppt スライド（地域医療支援病院としての現況報告、新型コロナウイルス感染症に対する取り組み）		
配布先	出席者全員		

進 行 内 容	発言者 (敬称略)
-開会挨拶- ・それでは定刻となりましたので、令和6年度第3回地域医療支援連絡会を開催いたします。本日、司会進行を務めさせていただきます地域医療連携室の と申します。よろしくお願いいたします。 本日、歯科医師会長の 先生が所用により欠席とのご連絡を頂いておりますのでご報告いたします。	
-挨拶- 1. <u>那須赤十字病院 院長</u> ・皆さんこんばんは。本来、10月15日に予定していた本会ですが、急遽延期となりご迷惑をおかけしたことお詫び申し上げます。お越し頂ける方だけお招きして開催することも考えましたが、この会の主役は私達ではなく、院外の先生方ですので、主役の先生方が来ない会をやっても意味がないという私の考えのもと、急遽当日に延期させていただきました。その趣旨をご理解頂きますようお願い申し上げます。私自身、赴任して3年目を迎えました。当時の当院は色々な意味で弱点が多く、それを解決すべく2年間頑張ってきたつもり	

です。皆様方もお感じになっていると思いますが、相当変わったと思います。特に連携の面です。当初は地域医療連携室が事務部門の末端組織でしたが、院長直轄の組織にして連携室スタッフの権限を強化しました。その甲斐あって、地域の先生方からの紹介が相当増えました。また、当初救急受入れ率が70%程で、三次救急を掲げる急性期病院としてあってはならない現状でした。そういった状況もあって、100%を目指してきました。3年間で100%に近い、95%越える受入れ率になりました。本当にやむを得ない事情でお断りするケースもあります。ただ、断られた先生方、救急隊、患者さんの気持ちを考えると、「一人として断らない」という信念をこれからも貫いていきたいと思っています。

今後とも宜しく願いいたします。

2. 那須郡市医師会 会長 先生

・皆様こんばんは。那須郡市医師会会長の 先生です。先ほど井上院長からあったとおり、10月15日に開かれる予定だった連絡会是我々医師会のメンバーが参加出来なくなり、開催できなくなってしまいました。あの時、急に県の医師連盟から連絡があり、私と副会長、地区医師会の会長がその会議に出席することになってしまいました。衆議院議員選挙が行われることになり、その対策を練るための会議でした。その連絡が入ってすぐ、日赤に連絡して、この5人は出席できないという話を申し上げましたが、連絡が悪かったのかもしれませんが、このような結果となり申し訳ございません。衆議院選挙の結果は皆様ご存じのとおりです。実は昨日、来年行われる参議院議員選挙に関してのWeb会議がありました。日本医師会副会長の釜井先生が立候補するので応援して欲しいとの話がありました。日赤の白石先生からお話があると思います。本日は地域支援会議ということで、先生が着任されてから、ほとんどお断り無く受入れてくださって、本当に感謝しております。11月23日に大田原マラソンが開かれまして、昨年に引き続き今年も日赤の職員さんにご協力いただきました。本当に助かりました。また来年もお願いしたいと思っております。

3. 那須郡市医師会 副会長 先生

・皆様こんばんは。 先生です。以前は西那須野塩原地区医師会の会長として参加しており、今回が初めての出席ではないですが、立場が変わりまして那須郡市医師会の副会長で参加することになりました。この地域連携について、普段私が感じていることをお話させていただければと思っております。確かに井上先生が着任されてから大幅に日赤も変わりました。やはり、この病院を支えて行くにはマンパワーが必要で、マンパワーの確保という点で 先生が非常に努力され、日赤の医師数も増え良くなってきていると思います。地域の医療連携構想というものがあまして、病床数に関しての話を塚原先生に伺いましたが、地域完結型医療が称されています。最初に携わる救急医療がこの地域は非常に劣っております。救急車の受入れ先が見つからないことが非常に多かったようで、1人の患者さんが、受入れ先決まるまで平均40分を越えていました。全国でもワーストで非常に情けない現状でした。徐々に、改善されてきていますが、全てを日赤が受ける事は不可能に近いと我々も思っております。国際医療福祉大学病院と非常に密接な連携を持って、日赤が受入れ不可の時は国際で受けられるように病病連携を強化していき、よその地域に搬送されることを防ぐ必要があります。本日は消防をはじめとする行政の方々も出席されているので、消防から受入れについての問題提起、あるいは行政から市民の意見などを伝えて頂き、活発に意見交換をしてほしいと思います。この会には様々な立場の方々が出席されているの

で、沢山ご意見を出して有意義な会議になればより良いと思います。

4. 那須赤十字病院 救命救急センター長

- ・皆様こんばんは。本日はお忙しい中お越し頂きましてありがとうございます。10月から救命救急センター長を任命されましたです。元々獨協医科大学病院の救急センターで30年近く勤務しておりました。院長にお声がけ頂き4月から麻酔科に勤務し、10月から救急センター勤務となりました。私はさくら市出身で、那須日赤には15年ほど前に約5年間、救急センターで勤務しておりました。その時の救命救急センター長が先生で、今もお手伝い頂いております。現在、私と先生と先生3人で救急医療をやっています。3人だとなかなか難しいところもありますが、院長が就任してから全体的な医療をみんなでやろう、という気持ちが高まっているところだったので、各科の先生やコメディカル、医療スタッフと協力して、紹介頂いた患者さんを出来るだけ受入れていきたいと思っています。那須赤十字病院は3次救急を担っていますが、私的には県内にある他の3次救急病院と比べると、まだまだなところがございますが、院長と相談しながら頑張っていきたいと思っています。地域の先生方と医療関係者と協力しながら地域を守っていきたいと思っていますので、今後とも宜しくお願いいたします。

5. 地域医療支援病院としての現況報告 (ppt スライド)

- ・スライドのとおり説明

6. 当院の新型コロナウイルス感染症に対する取り組み (ppt スライド)

- ・スライドのとおり説明。

7. アンケートについて

- ・特になし

8. 質疑応答・その他 (トピックス等)

- ・10月20日に当院で病院祭を開催いたしました。医療機器の体験や災害救護活動の展示、病院見学ツアーや模擬店を地域の皆様が楽しめるように開催いたしました。また、那須地区消防本部のご協力の下、はしご車を出動していただき、来場者の皆様に大変好評でした。また、おわたわらの会としてACP人生会議のブースを設けまして、地域住民の方に広報活動を行いました。当日は約800名来場頂き、大変盛況でした。来年度も地域住民の方に楽しんで頂ける病院祭にしたいと思っております。

次に11月14日に勝田屋にて第34回那須赤十字病院病診連携懇談会を開催致しました。院外から89名、院内から98名で合計187名と多くの先生方、関係者の方にお越し頂き大盛況のうちに終わることができました。当日は診療科紹介、研修医紹介を致しました。顔の見える連携を更に深めることが出来たと思います。来年度も日時は未定ですが、開催を予定しております。多くの先生方のご参加をお待ちしております。宜しくお願いいたします。次に、11月23日に開催された大田原マラソン大会において、市から依頼があり当院と日本赤十字社栃木県支部のスタッフを派遣しまして、救護活動を行いました。先ほど先生のお話にもありましてとおり、大会ドクターとして先生も参加され、一緒に活動しました。引き続き地域の皆様向けの活動を行っていきたいと思っています。

・質疑応答

- ・那須地区広域行政事務組合のです。いつも大変お世話になっております。今後とも引き続き宜しくお願いいたします。

- ・那須地区消防本部の 1 です。こちらからの要望は救急隊が 3 次として受入れ要請した時、特に夜間帯は、受入れて頂けると助かります。宜しくお願いいたします。
- ・那須町の 1 です。今年のはじめに 2 名生がお亡くなりになり、那須町の診療所が減ってしまった現状です。町長とも那須町の医療体制について協議しております。医師会や那須日赤のお力を借りていく必要があります。来週早速、日赤とへき地診療に関する会議を行う予定です。引き続きのご協力をお願いいたします。
- ・那須塩原市の 1 です。県の事業で「救急車を呼ぶか迷ったら」という、電話相談のチラシを作成しました。電話相談の時間帯は平日 16 時から翌日 10 時まで、休日は 24 時間対応しております。地域の皆様にお知らせして、救急に役立てられればと思っております。宜しくお願いいたします。
- ・すばらしい試みだと思います。都市部の救急要請のテレビを拝見すると、24 時間鳴り続けて、タクシー代わりに救急車を使う方など、本当に救急車が必要な方にマイナスの要因しかない状況です。逆に救急車を呼ぶのを躊躇していたら、実は大変な病気だったということもあります。そのような時に気軽に相談できる所があると大変助かると思います。
- ・大田原市の 1 です。那須赤十字病院には大田原マラソンなどでご協力頂き大変感謝しております。最近市役所で救急要請したところ、那須赤十字病院でスムーズに受入れてくださいました。また、職員が家庭訪問した患者さんの件ですが、3 年ほどどこにも通院しておらず、久しぶりに診療所に受診したところ、精密検査が必要となり、日赤に紹介され、その翌週には検査して頂いた方がいました。病診連携がスムーズであると実感しました。感謝しております。ありがとうございます。
- ・県北健康福祉センターの 1 です。先生からコロナについてのお話、大変勉強になりました。コロナが 5 類になり、法に基づく入院ではなくなりました。感染対策や入院期間についても医療機関独自で取り決めていると思います。そのような中で、那須日赤の対策を知ることができて勉強になりました。これからどのような感染症が出てくるか分かりませんが、地域の医療機関で情報共有すること、医療機関ごとの役割についての認識を深めることが大切と言われています。感染症だけでなく、指定を受ける基幹病院としての役割もあると思いますので、地域での診療バランスが非常に重要な課題だと思います。ありがとうございました。
- ・黒磯薬剤師会の 1 です。医薬品の供給については、まだまだ足りないことがありますが、今後も病院と薬剤師会との連携を深めていきたいと思っております。
- ・大田原薬剤師会の 1 です。澤田会長と同じく、医薬品が入らない状況があるので、その際は問い合わせをして代替薬に変更できればと思っております。電子処方箋が始まっていますが、この地域の方は FAX 利用される方が多いので、処方箋 FAX コーナーは存続していただきたいと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。
- ・薬品の供給不足に関して、院内でも非常に困っておりますが、院外の薬局にプロトコルを組んでおりまして、疑似照会を簡略化するシステムですが、薬局の方で在庫のある薬剤に変えられるものであれば変えて頂く対応をしていますので、今後なるべく先生方に迷惑が掛からないよう連携を取っていききたいと思っております。
- ・疑似照会をする際、在庫が無いというお話をさせていただくと、先生方にご理解頂けない部分があります。代替薬を準備するのも薬局の役割ですので、十分に対応させていただきますが、どうしても対応できない時があるので、ご理解頂きたいです。
- ・薬が足り無いことは幹部会議でも議論していますが、それが末端の医師まで浸透していないという事ですね。深刻な問題なので、医局会で伝えていきます。
- ・那須歯科医師会としましては、日々の診療で紹介させていただき、大変お世話になっております。

本当に感謝しております。個人的なことです。が、那須地区在宅医療介護連携支援協議会というものがありまして、2017年から顧問を引き受けおります。今年、2月に那須町文化センターで若年性アルツハイマーを患っているながら、全国を講演して回っている方をお願いして、講演会を開催しました。収容人数が1000人程ありますが、400名前後の市民の方々に来て頂きました。あと、自治医大の倉松先生にお越し頂いて、講演会を開催いたしました。申込みが多くて、350名定員のところ予約だけで300名越えでした。そのような催しを最近行っております。

- ・ 今月連携室を通して、立て続けに患者さんを快く引き受けてくださって大変ありがたく思います。当院にかかりつけの高齢女性が、先日転倒した際、紹介状無しで日赤に受診したところ、診察して頂けなく、宇都宮方面の整形外科に受診したというお話を聞きました。最初にかかりつけである当院にあれば日赤に紹介できましたが、突然のことで驚いて直接日赤に行ってしまったそうです。患者さんからすれば悲しい思いをしたのではないかと思います。
- ・ このような問題は多々あると思います。制度上の問題で、紹介状が無い場合選定療養費をお支払い頂ければ診察は可能です。その説明をさせて頂いて、選定療養費を了承した上で受診できるはずですが、その時対応した人が一切駄目と言ってしまったのかもしれませんが。患者さんからすれば、せっかく来たので選定療養費支払ってでも診察してほしいという人の方が多いと思います。
- ・ 平日の日勤帯は大体私は居ますが、一般外来は予約で混雑していて、駆け込みで来た患者さんを外来で診るのが難しい時に救急へ依頼が来ます。救外が混雑していない限り対応していますが、簡易的であればギブス固定をした上で、整形外科に院内紹介することができます。土曜日と日曜日は対応が変わってきてしまいますが、平日の日勤帯であれば救急で対応させていただきますので、よろしく願いいたします。
- ・ 医療制度の問題で、医療機関の役割分担について盛んに言われています。患者さんも大学病院に行けば間違いがないという意識がまだまだあると思います。市民に対する啓蒙活動が重要になってきます。病院の役割というものを、患者さんに先生方からも説明いただけるとありがたいと思います。
- ・ 塩谷郡市医師会です。お世話になっております。救急患者を紹介した際、内科受入れ不可でも外科で受入れてくれた事例がありました。快く受入れてくださってありがたいと思っております。
- ・ 以前は、自分の専門分野ではない、忙しいとの理由でお断りしていたことがありました。私が目指していたのは、内科がだめなら外科で受けるといった院内連携です。それがこの2年間でだいぶ出来るようになりました。唯一救急が問題でしたが、先生が救急に来てから、院内の体制はほぼ出来上がりました。先生は人望も厚い方なので、頼んだら誰も断りません。2年間掛けて先生を説得し来て頂きました。
- ・ 黒磯医師会です。今週金曜日に黒磯地区医師会の集まりがありますので、問題点がないかどうか早急に確認し、それをご報告させていただきます。
- ・ 西那須野塩原地区です。いつもお世話になっております。木曜日に地区医師会の集まりがありまして、日赤との連携について不具合がないか確認してきました。今回は特にご意見は出ませんでした。もし何かあれば、連絡会だけではなく直接連絡させていただきます。
- ・ 大田原地区医師会です。地区医師会でも黒磯・西那須野と同じように苦情を吸い上げたいところですが、院長をはじめ、副院長の先生方にも地区医師会にお越し頂いていて、先生方の前で苦情を吸い上げるのは難しいので、院長先生がいない場で苦情等が無いかな確認したいと思います。我々が主役と言って頂いたので、次回に持ち越したいと思います。
- ・ 先生の行動力には頭が下がる思いです。救急医療の全国的な展開を見ますと、医療DXが盛んに進められていて、成功例が発表されています。胸痛の患者さんが居たら、その場で心電図を担

当医に送ることができ、PCI をスタンバイできるという体制。そのような体制を作っていくためには、ある程度政治力や資金を稼がないといけないので、先生方の行動力に期待して、こちらの救急医療を改善して頂ければと思っております。病診連携はかなり改善されてきておりますので、救急医療を何とかしないと、地域完結型の実現が難しくなってきてしまいます。

- ・10月に入ってから、医療情報と連携して救急隊からメールで心電図が送られてくる、システムを立ち上げてある程度出来ています。救急隊からのメールを確認し、こちらはスタンバイするという形の構想が出来てきております。メールアドレスを開業医の先生方にもお知らせして、心電図の写真を送ってもらえれば早急な対応が出来ると思いますので、全ての準備が整いましたら、各消防と医療機関にお知らせしたいと思っております。

- ・私はがん末期の患者さんを診ていますが、紹介状の記載について、いつ診断になってどの様な経過を辿ったのかを簡単にいいので記載して頂きたいです。死亡診断書の記載でその病気が何年何ヶ月、どのくらいの期間治療されたのか詳しく記載する決まりになりました。また、病名を略語で記載する先生がいますが、専門的なものは分からないので、略語では無く分かりやすく記載していただきたいと思っております。処方についても、お薬手帳を確認していないのか私が処方した薬と同じようなものを出している時があるので、細かい所ですがそういった確認もお願いしたいと思っております。

- ・後方連携で、この地域では慢性期回復期リハビリ病院が少ない状況にあります。塩原温泉病院、那須中央病院、那須北病院、黒須病院と連携を取っています。塩原温泉病院は調整がスムーズ、早ければ調整して2日で転院できます。那須中央病院、那須北病院はなかなか難しいようです。急性期病院として、運営上なるべく在院日数を減らしていますが、後方連携が難しいところです。引き続き各病院にはできるだけスムーズな転院受入れをお願いしていきたくです。紹介状の件ですが、病歴の日付については徹底いたします。先ほど先生から医療のDX化というところで、本来とちまるネットは、このような事の為に作られたはずで、地域の先生方はパスワードを利用して、提携先の病院カルテを閲覧できる仕組みを全く有効活用されていないし、トラブルが起こっています。とちまるネットの代わりになる新しい方法として、スマホを利用した情報共有を県北医療圏で検討しています。実現には時間が掛かると思いますが、皆様にお知らせいたします。もう一つお知らせで、当院の病理診断に『』という非常に優れた医師がおりまして、今後地域連携の一環として、開業医の先生方から検体をお預かりして、当院で診断するサービスを始めました。6月の診療報酬改訂で加算対象となりましたが、全国で行っている医療機関はないそうです。当院としては全国初の試みで12月から開始しました。地域連携室からご案内を送付いたしておりますが、大田原地区医師会の会合の時に直接アナウンスさせていただきました。先生方のメリットとしては、民間の業者に依頼するより若干安いです。また、業者だと結果まで2週間かかる聞いておりますが、当院では1週間で結果が出ます。検体の配送に関しては当院職員が取りに伺います。ぜひ、ご活用いただきたく、地区医師会に伺ってアナウンスさせていただきたいと思っております。ぜひ宜しくお願いいたします。

本日はありがとうございました。今後も会員の先生方の意見を頂いて会議していきたくと思っております。

－閉会挨拶－

- ・次回開催は、令和7年3月18日火曜日です。詳細決まり次第改めてご連絡させていただきます。これにて、令和6年度第3回那須赤十字病院地域医療支援連絡会を閉会いたします。

以上

議事録

表 題	令和 6 年度第 4 回那須赤十字病院 地域医療支援連絡会 (現地開催)	管理番号	栃那病携第 22 号		
		作成者	地域医療連携室		
		承認	審査	担当	

開催日時	2025年3月18日(火)19:00~20:50	次回日時	2025年5月20日 予定
開催場所	那須赤十字病院 マイタウンホール	次回場所	那須赤十字病院 マイタウンホール
出席者	【院外】 【院内】 赤：欠席 青：代理		
議題	意見交換（配付資料参照）		
配布資料 その他	会次第、会員名簿、席次表 ppt スライド（地域医療支援病院としての現況報告、新型コロナウイルス感染症に対する取り組み）		
配布先	出席者全員		

進 行 内 容	発言者 (敬称略)
-開会挨拶-	
・それでは定刻となりましたので、令和6年度第4回地域医療支援連絡会を開会いたします。本日、司会進行を務めさせていただきます地域医療連携室の阿部と申します。よろしくお願いいたします。	
-挨拶-	
1. <u>那須赤十字病院 院長</u>	
・皆さんこんばんは。お忙しい所お集まりいただきありがとうございます。日頃より当院をご支援いただき感謝申し上げます。私が赴任して3年経ちました。任期はあと1年になります。この1年で地域医療の更なる発展に最善を尽くしたいと思っております。昨年10月に をお迎えし、救命救急センターの体制が整いました。 先生が赴任してから、救急車受入れが増加しました。年末年始頃からコロナインフルエンザの流行に伴って、病床稼働率が98%を越えました。満床時には救急外来でオーバーナイトをして何とか受入れをしている状況です。「満床を理由にお断りをしない」と言っても、現実的ではございません。お断りせざるを得ない状況にあることを報告いたします。急性期病院として、急性期	

治療が終了したら速やかに回復期へ転院し、療養、在宅へ繋げることが理想ですが、なかなか後方病院に受入れて頂けないケースがあります。そのため、回復期、療養、リハビリ病院へなるべく早く転院の調整をしていただけるよう挨拶回りをしております。今後は急性期治療後に在宅医療へ繋ぐことができればと漠然と考えています。この地域の脆弱な医療体制について今後も模索し続けたいと思います。以上です。

2. 那須郡市医師会 会長

- 皆様こんばんは。那須郡市医師会長の です。先日、地域医療構想の講演会がありました。那須赤十字病院は県北で唯一の紹介受診重点医療機関ということで、先生がおっしゃっていた紹介逆紹介について理解を深めることができました。那須地区消防本部で救急医療対策協議会があり、日赤の先生にもご参加いただきました。また、先ほど先生から話しがあった在宅医療についてですが、急性期治療後すぐに在宅で診るのはなかなか厳しいと感じます。その辺りについて話を聞かせて頂ければと思います。本日は今年度最後の連絡会ということで、宜しく願いいたします。

3. 地域医療支援病院としての現況報告 (ppt スライド)

- スライドのとおり説明
- 紹介率ですが、地域連携室を通して受入れした紹介件数になります。昨年度からずっと 90% 越えで、最高 98% となっております。今年 1 月に減ってしまいましたが、これはインフルエンザが猛威をふるって、施設でのクラスター発生による受入れなどで病床がひっ迫し、年末年始はほぼ満床状態でした。そのような中で救急受入れを行っておりました。2 月になって徐々に回復し、3 月に入り落ち着きました。1 月に紹介率が減ってしまったのはこのような理由のためです。県内の各地域に、紹介受診重点医療機関がありますが、紹介率逆紹介率が 80% 越えているのは県内で当院だけとなります。非常に高い数字です。これは紹介してくださる先生方や、逆紹介を受けてくださる先生方のおかげです。また、歯科口腔外科に関してですが、当院は 5 人体制で非常に質の高い口腔外科手術を行っております。最近ホワイトニング外来も始めましたので、開業医の先生方のお役に立てると思います。ぜひ、歯科口腔外科にもご紹介ください。

4. 診療科紹介 救命救急センター長

- 栃木県内の 3 次救急病院は 5 施設あります。済生会、獨協、自治、足利、当院になります。当院は主に那須医療圏、南那須医療圏を担当しております。ここ最近塩谷地区、矢板、さくら市からの救急依頼が増えてきております。当院は 3 次救急に特化した病院ではないので、資料に 2 次医療にも病院名を載せており、3 次医療に那須赤十字病院・救命救急センターと載せております。1949 年 7 月に大田原赤十字病院開設し、1998 年 6 月に救命救急センターが開設となりました。救命救急センター立ち上げた当初は、年間 4500 件救急車受入れをしておりました。済生会宇都宮病院の次に多い受入れ数でした。2006 年に地域医療支援病院に指定されております。2009 年 10 月に、県北 3 消防本部との協定によるドクターカー運用開始しました。2011 年 3 月に東日本大震災が起こり、大田原赤十字病院も被災して病床数を 360 床まで縮小して業務にあたっておりました。2012 年 7 月に那須赤十字病院開設し、救命救急センターとして集中治療に特化し、高度な医療が提供できるよう ICU8 床、救急病棟 22 床設置しております。その他に手術後の患者さんが入る GICU 11 床設置しております。救命救急センターは、救命救急入院料を算定できますが、昨年 6 月の診療報酬改訂で「重篤な救急患者に対する医療を行うため、医師が常時配置されていること」となり、

残念ながら当院は救命救急入院料を算定できなくなっていました。当院は特定集中治療加算とハイケアユニット加算を算定しております。救命救急入院料を算定しているのは、県内で自治、獨協、済生会の3施設です。救急・集中治療の常勤医は私と昨年10月に一緒に赴任した増山医師の2人体制で行っております。救急外来は生と非常勤医で対応しております。集中治療室の病床登録はICU 6床、GICU 8床となっています。集中治療室の看護師が師長含め26名のため、実稼働病床がICU 4床、HCU 8床若しくはICU 6床、GICU 4床での稼働を目標としております。救急病棟の病床登録はHCU 20床となっています。救急病棟の看護師は57名おりますが、救急外来、血管造影、透視室、内視鏡を救急病棟の看護師が担当しております。救命センター対応の疾患は、脳血管、心筋梗塞など一般的な重症患者に対応しております。ICUの稼働状況ですが、10月11月は6床で稼働、12月1月はインフルエンザの流行により、4床で稼働しておりました。看護必要度は70%以上が基準ですが、4月から常に90%以上を維持しております。GICUの病床稼働ですが、10月11月が4床稼働、12月1月が8床稼働となっております。看護必要度は必要度1が20%~60%、基準2が90%後半を維持しております。3階救急病棟の稼働率は右肩上がりに上がっております。看護必要度も高い水準で維持しております。救急受入れ数も増えており、各診療科の先生方のご協力のもと対応しております。要請件数が初めて500件を越えて全て受入れられればよかったのですが、12月はインフルエンザ・コロナの流行があり、入院出来る部屋が無いとお断り件数も増えています。まとめですが、内科系・外科系・各診療科のもと救命救急センターの受入れを行っており、救急患者受入れ、入院が増え重症度・看護必要度も上がっています。急性期から各医療機関、医療福祉施設との連携を密にし、県北医療機関の稼働率をあげていく必要があります。皆様のご協力にこの場をお借りして感謝いたします。ありがとうございました。

5. アンケートについて

- ・那須町健康福祉課のです。報告になりますが、带状疱疹ワクチンが4月1日から定期接種化となりました。3市町で同様に行いますので宜しくお願いいたします。

6. その他（トピックス等）

- ・まず、当院のホームページがリニューアルします。地域の皆様に親しみやすく、分かりやすいホームページを目指して公開いたします。次のトピックスですが、4月13日から10月13日まで開催される2025大阪・関西万博において、日本赤十字社が事務局となり、国際赤十字・赤新月パビリオンを出展します。人間を救うのは人間だ。をテーマにしたパビリオンとなりますので、大阪万博に行った際はぜひお立ち寄りください。

7. 質疑応答

- ・外科の開業医が少なく、小さな怪我の対応に困ることがあります。外科系当直は、整形・形成・泌尿器科となっておりますが、先生方はいつもいるのでしょうか。
- ・外科当直について、土曜日は整形外科、日曜日は泌尿器科と形成外科が主に担当しています。オンコール体制を取っておりますので、骨折の患者さんが来院したらその日のオンコール医師が呼ばれて対応しますので、ご紹介ください。また、一般外科の先生がICU当直をしております。どのような患者さんが来ても臨機応変に対応できますので、土日もご紹介ください。今まで土日の救急外来は事務が電話対応しておりましたが、4月からはICU当直医が転院搬送のPHSを持つこと

になりました。直接医師とお話できますので、ぜひご紹介ください。

- ・ 当番医の際、千本松牧場から連絡がありまして、子供がアイススプーンを飲み込んでしまったと電話相談が入りました。私では対応できないので、那須赤十字病院にお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。また別件では、下肢脱力の患者を紹介した際、脳外の先生ではなく循環器内科の先生が当直でしたが、受入れてくださって丁寧な報告書も頂きました。脳梗塞の診断で翌日、脳外の先生に引き継いでくださったようです。大変感謝いたします。
- ・ 先ほど、先生からもお話がありましたが、急性期治療後すぐの患者さんを在宅で診るために、何が必要か準備のために教えていただきたいです。
- ・ 病状が落ち着いてから情報共有するのではなく、急性期から早めに情報共有をして、連携を密にしていきたいと考えています。急性期の治療を引き継いで頂く訳ではございません。説明不足で申し訳ございません。
- ・ 日頃よりお世話になっております。西那須野地区医師会からは特にご意見はありませんでした。何かご意見ある際は私を通してか、直接日赤に連絡があるかと思います。
- ・ 黒磯那須地区医師会からもご要望、ご意見がありませんでした。国際医療福祉大学病院の循環器が退職3名で補充が1名のみで、循環器の24時間ホットライン体制が厳しくなるという話がありました。その点に関して、日赤での4月以降の体制を教えてくださいたいと思います。
- ・ 今回、国福の循環器常勤医が減ってしまうということで、先生からもご相談いただきました。当院は循環器内科9名体制でオンコール体制となっております。当院は24時間365日循環器に関しては絶対にお断りしません。今後も国福が対応難しいときは、当院にご連絡頂ければ対応いたします。
- ・ 塩谷郡医師会としては、矢板地区が一番日赤にお世話になっております。私は今回のインフルエンザ流行時、高齢の肺炎患者をかなり助けていただきました。日赤に紹介した方は今でも元気に当院へ通っています。いつもありがとうございます。
- ・ 内科の専門的な診療科に紹介したい時、曜日によって診療科の偏りがあると感じます。
- ・ 内科は毎日初診担当がいます。基本的にその担当医が、内容によって専門医に振り分けしますので、曜日は気にせずご紹介いただいても大丈夫です。
- ・ 急患も快く引き受けてくださって感謝しております。5人体制ということで、今までより予約が取りやすくなった印象があります。ありがとうございます。日赤に急患を紹介する時、紹介状の送付をFAX対応で良いのか、あとで郵送でも良いのか教えて頂けるとありがたいです。また、地域の歯科医師の高齢化により閉院が相次いでいます。数年後には、歯科医院の数に地域格差がでてくると思います。そのような時に5人体制のままで居て頂けると助かります。歯科の紹介率が低いという事ですが、私の患者さんは日赤に紹介しています。長い目で見て頂けたらと思います。
- ・ 紹介状は、必ずしも持参しなくても大丈夫です。FAX、後日郵送でも大丈夫です。
- ・ 急性症状の強い患者さんがいて、菅間記念病院に紹介しそのまま入院となりました。その日の夜に症状が悪化し、菅間から日赤に転搬となったそうです。先生、先生に大変お世話になりました。もう一つですが、那須地区在宅介護連携支援協議会にて、先月国福の講堂でシンポジウムを開催しました。一般の方に在宅医療を知って頂くことが目的で200名ほど来場しました。今度日赤も在宅医療に力を入れていくということでご協力したいと思います。
- ・ 大田原、黒磯薬剤師会からは、薬剤師から主治医に向けて服薬情報提供書(トレーシングレポート)を提出していますが、先生方も忙しくて見ていないのではないかと意見がありました。
- ・ トレーシングレポートはスキャンして電子カルテに取り込みを行っています。先生方が見ていないと

私も思っていました。そのため、現在はスキャン後にカルテを開いた際「トレーシングレポートが届いています。ご確認ください」といったメッセージを表示して、先生方の目に届くように改善しました。

- ・ありがとうございます。ぜひ診療の参考にしていただきたいと思います。宜しくお願いいたします。
- ・大田原、黒磯、南那須の薬剤師会で連携をとっています。トレーシングレポートについては、やはり課題として、皆様にご承知置きたいと思っています。
- ・先生から話がありましたが、地域医療構想調整会議は高齢社会の介護医療を、どのように地域で受け止めていくか協議する場になります。今後は2040年問題に向けて連携を取って協議していくことになります。那須赤十字病院には、今後とも協力・ご指導頂く事になりますので、引き続き宜しくお願いいたします。
- ・疾病予防、重症化予防として、3月1日に那須赤十字病院にご協力いただき、糖尿病の健康セミナーを開きました。120名定員のところ150名お越しいただきました。市民の健康意識の高まりを感じています。今後とも宜しくお願いいたします。
- ・先生の話に看護師不足とありましたが、少子高齢化の影響で看護師を目指す若い人が減っていると聞きます。そのような中、那須赤十字病院の皆様は大変ご苦勞されていると感じました。
- ・今はどの病院も看護師が足りなくて、病床数削減しているような状況です。獨協も病棟1つ削減し、1064床から960床に減らしています。看護師が足りないことが理由のようです。今、消防勤務ではなく、病院勤務を希望する救命士が増えています。救命士は救急外来でしか勤務できないので、病棟は看護師、救急外来は救命士が対応することで、病棟の看護体制を整えることができるのではと僕の中で考えています。
- ・救急要請は減ることがなく、右肩上がりで増えています。当消防組合は12隊で回しています。12隊で年間1万件以上を対応しておりますので、救急隊は相当負担が掛かっております。それに伴い、現場到着時間も長くなる現状もあります。我々のデータだと、300人規模の消防本部で救急要請件数が減るのは10年以上後になります。我々の消防で320名いますので、この地域で要請件数が減るのはまだまだ先になります。要請の半数以上は高齢者です。皆様のご協力を頂き、円滑な救急対応をしたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。
- ・県の会議でも課題としているのが、救急車をタクシー代わりに使う方がいて、本当に救急車が必要な方への対応が出来ない事です。県全体でも取り組みを行っていく予定です。日頃より大変ご苦勞されていると思いますが、今後とも宜しくお願いいたします。
- ・院長がおっしゃる顔の見える連携、医療と共に地域発展はとても素晴らしいことだと思います。ホームページリニューアルについても「那須でつながり、地域の未来を創る」ということで、我々も行政もそのように思いで連携を取っていきたいと思いました。

－閉会挨拶－

- ・今回は令和6年度最後の地域医療支援連絡会ということで、皆様1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。来年度も引き続き宜しくお願いいたします。
- 次回開催は令和7年度5月20日（火）を予定しております。詳細は追ってご連絡いたします。本日はありがとうございました。

以上

(第19号様式) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	総合案内、相談窓口、相談室、病棟面談室
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療相談：病棟・外来看護師、社会福祉士、 医事課未収担当者 健康相談：臨床心理士、担当看護師
患者相談件数	10,676件
患者相談の概要	
医療相談： 1,910件 (別紙参照) 健康相談・電話相談： 8,766件	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

医療社会事業年報

令和6年度分

1. 取扱い件数

ケースの区分		件数
年度実件数		3075
継続実件数		1165
新規件数	入院	1386
	外来	516

2. 年度延人数

ケースの区分	件数
年度延人数	11718

3. 新規ケースの紹介経路

区分	件数
医師	237
看護師	990
リハビリ職	5
その他院内職員	78
本人	53
家族・親戚縁者	45
院外関係機関	338
近隣者・知人	9
医療チーム	119
ソーシャルワーカー	36
合計	1,910件

4. 介入の時期

区分	件数
受診前	53
外来	263
入院前	19
入院中	1386
その他	189

5. 社会的背景

区分	件数
独居	377
経済困窮	305
家族疎遠・身寄りなし	103
ハイリスク妊産婦	54
精神疾患	137
認知症	428
家庭内暴力・虐待	89
自殺企図	9
無保険	21
身元不明	2
ホームレス	2
外国人	8

6. 援助内容

区分	実件数	延件数
受診・受療	267	649
経済的問題	177	589
制度活用	377	1204
入院療養支援	21	41
退院支援	2309	9352
在宅療養・介護	89	185
医療者との関係	24	37
家族関係	70	237
日常生活	32	83
就労・就学	34	74
身元保証・権利擁護	134	679
死後対応	13	42
その他	24	36
合 計	3,571件	13,208件

7. 援助方法

方法	件数
面談	本人 682
	家族 989
	友人・知人 27
電話	本人 184
	家族 2334
	友人・知人 41
訪問	家庭 3
	その他 4
同行・同伴・代行	7
連絡調整・院内	15191
連絡調整・院外:面会	103
連絡調整・院外:電話	12122
連絡調整・院外:文書他 メール他	4038
カンファレンス(院内職種のみ)	386
カンファレンス(院外職種含む)	316
合同カンファレンス(院内職種のみ)	12
合同カンファレンス(院外職種含む)	80

8. チーム医療

チーム名	症例数
退院支援チーム	36
認知症ケアチーム	0
患者サポートチーム	18
リエゾンチーム	0
緩和ケアチーム	29
虐待対応チーム	35
倫理コンサルテーションチーム	0
その他	1

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名：日本医療機能評価機構 評価を受けた時期：平成26年2月 平成31年2月 令和7年6月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ホームページ、広報誌の送付、病診連携のための外来診療予定表の送付 病診連携懇談会の開催、研修会の開催 等	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有
・ 退院調整部門の概要 退院支援看護師専従6名、MSW8名 介護保険新規申請、在宅療養を希望しているケースは退院支援看護師が担当し、転院や社会福祉的な介入が必要なケースはMSWが担当している。 病棟毎に毎週定例で行っているチームカンファレンスや退院前カンファレンスへの参加、患者家族との面談を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有
・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 脳卒中地域連携パス、大腿骨地域連携パス、廃用症候群地域連携パス、がん地域連携パス ・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 各年3回のパス会議を開催 ・ 医療DXへの取り組み	